

市川市議会では、年4回の各定例会で、会派の代表が会派独自の立場から、市長提出議案等その他市政全般について質問をする代表質問を行います。6・9・12月定例会の代表質問における各会派の質問時間は、原則3日間の総質問時間を、質問通告のあった会派の所属人数に応じて割り振って決定します。質問は総括質問者が登壇して行う他、補足質問者を立てることができます。ここでは、代表質問のうち、会派が指定した項目の主な内容を掲載しました。

代表質問

公明党

〔補足質問者〕

堀越 優

久保川隆志

中村よしお

西村 敦

浅野 さち

〔総括質問者〕
宮本 均

大場 諭

松葉 雅浩

公共施設使用料の改定

問 平成26年9月定例会で公共施設の使用料を引き上げる使用料条例の一部改正が可決され、28年9月30日をもって激変緩和措置としての段階的な改定経過期間が終了した。使用料の改定により使用時間を減らして対応している使用者団体があるという現状について、

地域活動が停滞する結果になるのではないかとこの意見があるが、市の認識を問う。また、地域の元気の源ともなる活動を展開している施設の利用者もあるが、このような重要な活動に対して市が支援する考えはあるか。

答 使用料を改定したことにより地域活動を停滞させているのではないかとこの意見があることは十分認識している。一方で、施設の管理運営経費の大部分を市税



市内各地にある公共施設（体育館、公民館、集会室など）

地域猫活動

問 地域猫活動とは、地域に住み着く飼い主のいない猫をこれ以上増やさないようにするため、地域住民が主体となり、地域の理解と協力を得て、不妊去勢手術の徹底、餌や糞尿の管理等を行う活動のことである。

この活動に従事するボランティアが市内の様々な場所で餌やりをするようになると、活動を知らない地域住民との間でトラブルになるリスクがある。市はどのような対応を考えているか。

答 市としては給餌場等について周辺住民の理解を得ることが活動を円滑に進める上で重要であると考えており、地域猫活動について引き続き啓発をしていきたい。また、地域猫活動を行う団体に対しては、これまで登録証を発行し、市に届出をしている活動であることを明らかにできるよう配慮してきたが、登録団体のメンバーであることをより明確にするため、団体に専用のベスト等を配布できないか検討している。

放課後保育クラブ

問 議案第60号は、放課後保育クラブの指定管理者として社会福祉法人市川市社会福祉協議会を指定するものであるが、同法人を候補者として選定した経緯を問う。また、同法人の評価はどのようなものであったか。

答 平成28年5月に開催された候補者選定審査会において、放課後保育クラブの業務の特殊性等の理由から1団体を候補者として選定することが決定された。その後10月に開催された同審査会において、地域の情報を蓄積し、地域の活動を積極的に活用することができると、経験豊富な支援員を有していること等の理由により市川市社会福祉協議会が候補者として選定されたものである。また、同法人に対しては、外部委員を含む候補者選考委員会において、学校との連携

公共下水道への無届け接続

問 市に届出をせず公共下水道に接続している物件が約1100件あるとのことだが、使用料負担の公平性の観点から迅速な対応が必要であると考えている。これらの物件については今後どのように対応するのか。また、議案第46号の下水道条例の一部改正によりこうした無届け接続に対する処分が強化されるが、その具体的な内容について問う。

答 公共下水道への無届け接続については、使用者と直接面会して届出を求め、方法をとってきたが、今後、連絡がとれない場合は下水道使用料の賦課に関するお知らせと使用開始の届出書を投函することを考えている。市としては、届出がない場合でも、下水道を使用している事実が確認できれば使用料を賦課することを考えており、これらの作業は平成28年度内に完了させた内容について問う。

自由民主党

中山 幸紀

三浦 一成

〔総括質問者〕
ほそだ伸一

佐藤ゆきのり

かいづ 勉

平和学習

問 平和学習とは、言い換えれば命の大切さを学ぶ授業であり、命の大切さを学ぶことは、現在のいじめや自殺といった問題に対しても通じるところがあると考える。平和学習の意義や必要性等について、市はどのように認識しているか。

答 平和学習あるいは平和教育は、学習指導要領では特別な領域としてはないが、命を大切にするという視点においても極めて重要であり、今後更に指導の必要性が高まるものと認識している。平和に関する教育は国

道徳教育

問 平成30年から31年にかけて、小中学校で道徳教育が科目として正式に教科化される。道徳の充実はいじめの防止にも大変重要であると考えているが、道徳教育の内

防災・安全

問 大規模災害時において自衛隊の担う役割は大変大



平成24年度に行われた九都県市合同防災訓練の様子

容や教科化によって期待される効果について、市はどのように考えているか。

答 道徳教育は、豊かな心だけでなく、確かな学力や健やかな体の基盤ともなり、生きる力を育むために極めて重要であるのに加え、いじめや不登校等の今日的な課題に対しても、その役割は重要であると認識している。また、道徳教育は、学校の教育活動全体を通じて系統的・継続的に行われるもので、本市では、挨拶運動、規範意識の向上、地域の教育力を生かした学校支援実践講座等に取り組んでいる。道徳教育が教科化される最大の効果としては、共通の教科書の使用により教材研究や研修の充実が図られ教員の授業力の向上が期待できる他、記述式評価を行うことにより学校と家庭が連携した道徳性の育成が期待できること等がある。

問 大規模災害時において自衛隊の担う役割は大変大

きいと考える。本市での防災訓練において、自衛隊と共同して行うことの必要性について、市の考えを問う。

答 東日本大震災等における自衛隊の活動の例をみて、自治体にとって自衛隊は極めて重要な存在である。本市では平成24年度の九都県市合同防災訓練の

際に救援物資の輸送等を行う他、各種訓練や行事への参加等様々な形で自衛隊との連携を図っている。29年度の総合防災訓練では、野外生活の支援等目で見ても、自衛隊と連携して行う、市民の防災意識の向上及び自衛隊との連携強化等を図っていききたい。